

琴浦町「寿大学」
R1. 7. 12

考古学の基礎の基礎



考古学とは？

モノから歴史を考える。
・出土品(土器、木製品、金属製品、動植物遺体など)

[土器の種類の変化から]



桂見遺跡(鳥取市)
縄文土器

弥生時代には、壺、高杯など種類が増える



笠見第3遺跡(琴浦町)
弥生土器



古墳時代の土器



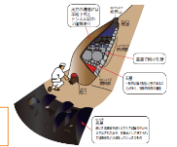
長瀬高浜遺跡(湯梨浜町)土師器



笠見第3遺跡(琴浦町)須恵器



古墳時代には、カマドが出現。
新しいタイプの土器、須恵器も出現。



出土したモノから分かること

[甕の形の変化]

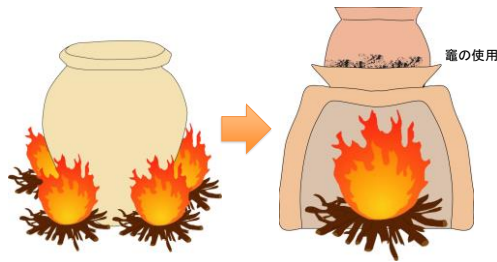


弥生時代の甕(今の鍋)
(梅田萱峯遺跡)



古墳時代の甕(今の鍋)
(長瀬高浜遺跡)

底が平底から丸底へ変化する。



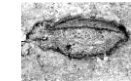
生活スタイルの変化



縄文土器の底のノビル
(桂見遺跡)



縄文櫛・耳栓(井手跡遺跡)



縄文土器付着
の米跡



縄文弓:イヌガヤ
(青谷横木遺跡)



縄文カゴ(高住井手添遺跡)



縄文カゴの材料:ヒノキ材



弥生カゴ(青谷上寺地遺跡):マタビ



弥生縄(青谷上寺地遺跡):ツヅラフジ



木製の鍬



木製の鋤



米づくりの道具(青谷上寺地遺跡)



青谷上寺地遺跡



大陸製の金属製品
・星雲文鏡: 本州唯一
・貨泉: 全国で60例 など



大小様々な鉄の道具
(鉄斧、鋤、ヤリガンナ)

金属製品(青谷上寺地遺跡)

弥生時代の木の匠



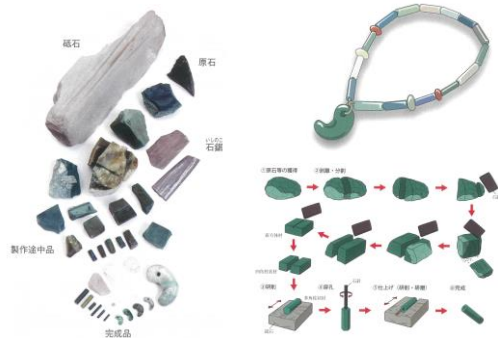
鉄斧と使い方
・米づくりのための開墾

秀麗な木製品



花弁高杯・容器(青谷上寺地遺跡)

玉づくり



跡から歴史を考える。

- 遺構(竪穴住居跡、掘立柱建物跡など)



建物の復元



焼失住居(下坂本清合遺跡)



独立棟持柱建物(会下・郡家遺跡)
・弥生時代



掘立柱建物(倉庫?)
(会下・郡家遺跡)
・平安時代



史跡大高野官衙遺跡(正倉跡)
・奈良平安時代

武蔵国都築都衛復元模型
(横浜市歴史博物館)



遺跡の時代はなぜ分かるの？

[いろいろな時間を計る物差し]

- 土層から **土層は下の層が古い時期。**



時代による土器の形の変化



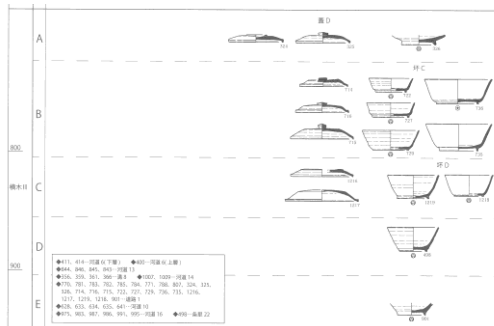
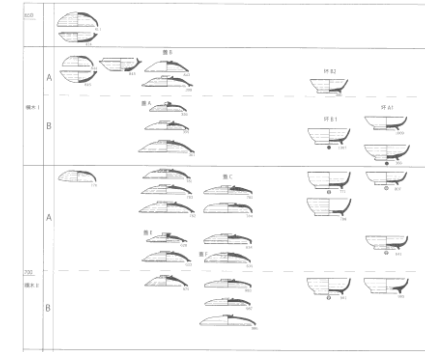
縄文時代の中頃
(上菅荒神原遺跡)



弥生時代の中頃
(梅田萱峯遺跡)

- 土器は、どの時代でも多数使われている。
- 時代によって形が違ふ。(流行・使用方法)

土器の編年表(青谷横木遺跡)



科学的な分析で

- 1 年輪年代測定法
- 2 放射性炭素年代測定法
- 3 酸素同位体年代測定法

各種分野の研究を集結して

- 古代の生活
 - 古代の社会
 - 古代の環境
- を検討することが「考古学」